



私たちは花が好き。緑が好き。人が好き。

園芸福祉ふくおかネット

No.57

2023年3月号

ネット通信 花 便 り



目次

厚生労働大臣感謝状受賞	P2
2022 初級園芸福祉養成講座を終えて	P3
初級園芸福祉士養成講座を受講して	P4
新会員紹介	P4
小倉南特別支援高等学校 体験講座報告	P5
園芸福祉体験講座を終えて	P5
古賀特別支援学校での園芸福祉体験	P6
園芸福祉体験事業に初！参加させていただきました	P6
小倉総合特別支援学校 病弱高等部園芸体験実施	P7
事務局からのお知らせ	P8

厚生労働大臣感謝状受賞

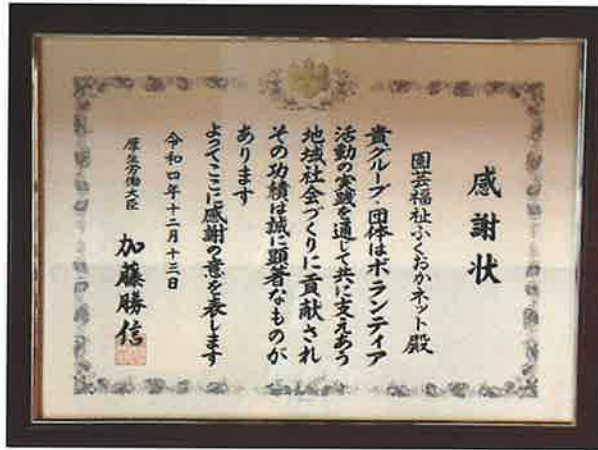
代表 黒瀬 恵子

昨年12月13日(土)東京の浅草公会堂で行われた「令和4年度 全国社会福祉大会」に於いて「多年にわたり社会福祉の発展に功労のあった団体」として、園芸福祉ふくおかネットが選ばれました。

厚生労働大臣より感謝状を賜り、12月27日(火)福岡市社会福祉協議会で行われた伝達式に副代表の沖本円さん、諫山みどりさんと一緒に出席致しました。

平成16年7月設立以来、アイランドシティ中央公園の「園芸福祉の庭」の提案を起点として、多くの会員が永く広く活動を展開してきたことが高く評価され大変嬉しく光栄に思います。

今年20周年を迎える園芸福祉ふくおかネットが、これからも花や緑と関わりながら社会福祉に貢献できるよう、そしてそのことが私たちの喜びとなるよう、会員相互の交流や学びも深めながら活動していきたいと思っています。今後ともよろしくお願い致します。



左から副代表 諫山さん、代表 黒瀬さん、副代表 沖本さん

2022 初級園芸福祉養成講座を終えて

北野 多美子



初級園芸福祉士養成講座が令和4年11月19日(土)・20日(日)の2日間、アイランドシティ中央公園で開催され28名の方が受講されました。養成講座の開催は7年ぶりのことで、私は初めて開催事務局として受講者への対応や普及協会との連絡を受け持ちました。

「受講者が集まらなかったら…」と不安視していましたが募集人員を上回り奇遇に終わりました。仕事を終え自宅のパソコンを開き、メールの確認をしてメール返信や普及協会への報告などが日課となりました。常に黒瀬

恵子代表と連絡を取りながら講座の準備を行い、当日の実習花壇準備は会員の方々に協力していただきました。

講座を終えた受講者の方から「受講して本当に良かった」「植物のことやデザインの基本が理解できた」「もう少し時間の余裕が欲しかった」などの感想がありました。受講生の中には園芸福祉ふくおかネットに入会された方もおられます。2月11日(土)に実施された初級園芸福祉士認定試験にはスタッフとして、一生懸命試験に取り組んでいる姿を見守りました。今後、受講者の皆さんと共に園芸福祉の輪を更に大きく広げて参りましょう。



▲ ストレスを解消する花壇



▲ 高齢者の人たちと一緒に楽しむ花壇



▲ 車椅子利用の人たちと一緒に楽しむ花壇



▲ 子どもたちと一緒に楽しむ花壇



▲ 視覚に障がいのある人たちと一緒に楽しむ花壇

初級園芸福祉士養成講座を受講して

吉松 里美

アイランドシティ中央公園 体験学習施設「ぐりんぐりん」に於いて「初級園芸福祉士養成講座」が開催されました。今まで4日間だった講座がコロナ禍の為、2日間に短縮された開催となりました。初日はNPO法人日本園芸福祉普及協会の粕谷 芳則(かすや よしのり)先生による、園芸福祉の活動全般の講義、2日目午前は高松 雅子(たかまつ まさこ)先生による植物の知識や多岐にわたる園芸福祉活動についての講義。

午後は園芸福祉ふくおかネット黒瀬 恵子代表より、花壇作成の説明を受け、グループに分かれてのモデルガーデン作り。

私のグループは男女年齢様々な6名で「ストレスを解消する花壇」を担当する事に。6名はほとんど初対面にも関わらず、皆さん積極的に意見を出し合い和気あいあいと進行し、花壇のイメージと花苗(決められた物の中から)の配置が決定。その後、同園「園芸福祉の庭」に移動し、植栽作業。作業中も色々な意見が出て更にイメージアップし、出来上がった花壇に6名全員が満足し、充実した時間を共有。発表は年齢の若い男女2名にして頂いたところ、短い時間の打ち合わせだったにも関わらず、グループでディスカッションした花壇イメージをととても分かりやすく説明してくださり、園芸に対する熱い思いが伝わりました。



その後、同じグループの男性が「園芸福祉の庭」の定例作業にも参加され、園芸福祉ふくおかネットの会員にも加わって下さるとの事。良かった♪令和5年2月11日(土)に認定試験を受け、4月に合否の通知が来る予定ですが、結果はどうかあれ充実した講義を受け、何年ぶりかで試験勉強をした事が、今後色々な場面で役立つと思いたいです!!



新会員紹介

久保 恵子さん



職場で先輩の諫山さんと大好きな花の話をしていた時に「土から沢山のパワーをもらえるよ。一度体験にきてみたら」と誘われたのがきっかけで、アイランドシティ中央公園の花壇ボランティアに参加するようになりました。私が初めて参加した10月は、次の花を植えるための土作りでした。スタッフの皆様に優しくお声かけいただきながら、今は花が咲いてないけれど、どんな素敵な花壇になるのだろうかと思像しながら作業しました。何をしても土台が大事で、まさに土から沢山のパワーをもらったひと時となりました。

11月に参加した時には、すでに私の想像をはるかに超える心のこもった、また優しさにあふれる花壇が出来上がっていました。公園を訪れる人のことを考えながら花壇作りをされているんだと感激しました。私も少しずつかもしませんが、花のことを勉強しながら自分の出来ることをお手伝いさせていただければと思っています。

小倉南特別支援高等学校 園芸福祉体験講座報告

沖本 円

2022年12月9日(金)福岡から北九州まで園芸福祉体験講座に伺いました。そこまでの距離や初めての場所ということもあり、早めに博多を出たつもりでしたが、不案内のため到着がぎりぎりになってしまいました。それでも生徒の皆さんが入室される時までには皆で準備を整えて無事に講座が始まりました。生徒さんたちは各自決められたテーブルにスタンバイして配られた花苗や土が半分入ったプランターボックスに興味津々の様子でしたが、講師の挨拶や説明が始まると熱心に聞いておられました。



いよいよ植え付けが始まると、皆さん嬉々として苗をポットから出そうとビニールポットの底の部分をもみもみして楽しく作業が始まりました。花苗を一つ植え終わると講師の次の言葉を待って、熱心に見つめて集中されていたのが印象的でした。用意された10個の花苗をすべてプランターボックスにセットし終わるころには慣れてきて手際よく作業できていました。私たちはそばで見守りながら、

時々花苗を支えて土の足りないところを示すと土を何度も補充してしっかりと植え付けが出来ました。ほとんどの生徒さん(2名ほど、体調不良で退室)が時間内にきれいに植え終わり、最後に植え付けたプランターを一つ屋外に持って出て水やりの仕方を教わるときにもプランターを囲んで熱心に説明を聞いておられ、自分達でお世話をする気持ちが伝わってきました。園芸福祉体験講座が喜んでもらったことが何より良かったと思いました。

園芸福祉体験講座を終えて

吉松 里美

12月1日(木)「福岡市立東福岡特別支援学校高等部」(福岡市東区)で、プランター寄せ植え作りの講師をさせていただきました。同校は園芸や野菜作り等を授業に取り入れている事も関係しているのか、生徒さんたちが土や花苗の扱いに慣れていて、スムーズに作業できた感じがしました。

「家でも作りたい」という生徒さんや、園芸福祉ふくおかネット黒瀬 恵子代表に水やりの仕方について詳しく質問する生徒さんもありました。担当の先生も大変明るくて元気ハツラツで、体験講座にとっても協力的でした。私自身、今年で2回目の体験講座でしたが、生徒さんが一生懸命に取り組んでいる姿に、また来年も参加したいと思える一日になりました。



古賀特別支援学校での園芸福祉体験

井上 妙子

古賀特別支援学校での園芸福祉体験講座は、私は今回3回目になります。8時30分学校に集合。講師は生産者を含めて7名でハンギングバスケット作りです。講座が始まる前に講師が事前に容器の側面に8ポット花苗を入れて作り込み、最後の4ポットを生徒さんに植えてもらいます。生徒さん



の個性に合わせて説明をしながら完成させるのですが、なかなか思うように進まなくて・・・、担任の先生に手を添えてもいいですか？（触られるのが苦手な生徒さんも居られます）と先生の了承を得て完成することが出来ました。

毎回体験する度にこちらが勉強させられます。特に今回は生徒さんに対して可愛らしいと言う今までにない不思議な感情が湧いて来ました。次回も是非体験したいと思います。

園芸福祉体験事業に初参加させていただきました

吉武 多恵子

福岡市立特別支援学校「博多高等学園」（博多区下呉服町）の校内に入ると、すれ違う先生方や生徒さん達の気持ちの良い挨拶に元気をもらいました。ハンギングバスケットの制作実習が始まると、生徒たちの一生懸命に話を聞きつつ真摯に作業に取り組む姿勢、先生方も一緒になって丁寧にお花



に関わって楽しむ姿に、とても感動しました。黒瀬 恵子代表の事前の準備があつての体験事業だったと思いますが、その的確さや手際の良さが素晴らしく講座の進め方など学ぶ事ばかりで大変貴重な経験になりました。「生徒さんとどうやって関わっていこうか」「どうやって伝えようか」と私なりに考えていましたが、机の上にお花や材料を並べた時点で既にも私の方も楽しくなっていました。手順や正確さは大切なのですが土を触ってお花を触って、何だか楽しいな！と感じてもらえたらと思い、出来るだけ見守っておりました。

生徒さん達は隙間がないようにと培養土を花苗の根鉢の下や根鉢と根鉢の間に入れながら、正面から見たお花の向きやミズゴケの敷き詰めも本当に上手で素晴らしいハンギングバスケットが次々に出来上がって行きました。自分で作ったという達成感でお手入れが喜びになって、お花達も色鮮やかに元気に成長してくれていると嬉しいです。



小倉総合特別支援学校 病弱高等部園芸体験実施 溝口 孝夫

令和4年12月14日(水)に非常勤で勤務している北九州市立小倉総合特別支援学校の病弱高等部で、園芸福祉体験を実施させていただきました。先生方は前日に車椅子の生徒の活動に配慮した教室準備をされていました。当日は、感染症の影響で予定人数より参加者が少なくなりましたが、生徒のみなさんは初めての体験学習に興味をもって「プランターの寄せ植え」に取り組んでくれました。プランターに植え付ける花苗の数にびっくりしながらも苗の配置、植え付け等の説明を受けながら一つ一つの工程を担当の先生方や講師、生産者の方と作業され笑顔でプランターの寄せ植えを仕上げることができました。体験後の振り返りでは、寄せ植えに関心が持てたことを発表されました。

これからも生徒さんが笑顔で「できた」と達成感や成就感の気持ちを得られるように園芸福祉体験学習に望みたいです。実施後のアンケートには、これからは家庭で花を育ててみたいや楽しかったなどの言葉が書かれていました。

♥ 病弱高等部 土屋 優子先生より生徒さんが描かれた絵が送られて来ましたのでご紹介します。



事務局からのお知らせ

▶ 園芸福祉ふくおかネット定例会議

現在、新型コロナウイルス感染防止のため「あすみん」での定例会議は中止していますので、園芸福祉の庭の定例作業の後に打ち合わせなどを行っています。コロナが収束して会員の安心・安全が確保できるようになりましたら皆様にお知らせします。

▶ 「園芸福祉の庭」定例作業

- 定例作業/第2月曜日・最終日曜日
10時～12時（6月～10月は9時～11時）
- ところ/アイランドシティ中央公園
園芸福祉の庭（福岡市東区香椎照葉4丁目）
※雨天の時は中止、次週に変更です。

▶ 入会手続きのご案内

- 入会を希望される方は事務局（下記掲載）にご連絡下さい。その後下記の口座に年会費2,000円をお振り込み頂き、入金確認後に入会となります。
- 活動と一緒にされているお仲間やお友だちなどで、まだ園芸福祉ふくおかネットの会員でない方がいらっしゃいましたらお気軽にお誘いください。
- お振り込み先/ 西日本シティ銀行 小笹支店
店番 222 普通預金
口座番号 1025817
園芸福祉ふくおかネット 代表 黒瀬 恵子

『総会のご案内』

第20回通常総会を5月14日(日)10:30～あすみんセミナールームBに於いて開催いたします。会員の皆様ご多忙とは存じますが日程調整の上、是非ともご出席頂きますようよろしくお願いいたします。詳細につきましては、後日ご案内させていただきます。



● 園芸福祉ふくおかネット事務局 ●

〒811-1351 福岡市南区屋形原 2-40-6-1

TEL:090-5020-8758（北野）

FAX:092-553-8066

E-mail: engeifukushi.fukuoka@gmail.com

URL: <https://www.engeifukusi-fukuoka.net/>

花便り第57号 令和5年3月1日

編集・発行/園芸福祉ふくおかネット